

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本漢字能力検定	
科目基礎情報							
科目番号	0067		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年		5		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材	参考書：国語辞典，漢和辞典，日本漢字能力検定 2 級以上に対応した問題集（どの出版社のものでもよい），漢検（日本漢字能力検定協会）公式ホームページ http://www.kanken.or.jp/						
担当教員	江原 由美子						
到達目標							
学習目的：常用漢字や熟語等の日本語知識について理解を深め,それらを適切に活用して表現する力を高める。							
到達目標 漢字が関わる日本語の知識を増やし，それらを適切に用いて表現できる。 ◎効果的な説明方法や手段を用いて，コミュニケーションを図ることができる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	日本漢字能力検定 2 級以上に優秀な成績で合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に良好な成績で合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に合格できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：国語 必修・履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野：人文学／言語学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（３）生きるための活力と，その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（Ｅ）研究能力の育成，Ｅ－２：与えられた制約の下で，自主的・計画的・継続的に自己学習できること」である。 授業の概要：漢字の学習を自主的に行い，日本漢字能力検定（漢検）の受検でその成果を試す。						
授業の進め方・方法	授業の方法：担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定の受検に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。 成績評価方法：日本漢字能力検定 2 級以上に合格した者は，担当教員に申し出るとともに，学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し，合・否で評価する。						
注意点	履修上の注意：所定の期日までに，選択科目履修願を提出すること。また，本科目は資格取得による科目であり，単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目（自発的学習科目を除く）の内，教務委員会で認定される単位数は，一般科目については 4 単位以内である。 履修のアドバイス： ・ 2 級までの全級は，受検希望者が 10 名以上出た場合，津山高専で受検可能（10 名未満の場合は，公開会場での個人受検となる）。検定実施の詳細は，掲示板で連絡する。 ・ 1 級と準 1 級は，公開会場（岡山県内では例年，岡山市と倉敷市に設置）でのみ受検可能。平成 29 年度の公開会場の検定日は，第 1 回が 6 月 18 日（日），第 2 回が 10 月 15 日（日），第 3 回が平成 30 年 2 月 4 日（日）。 基礎科目：国語Ⅰ（１年），国語Ⅱ（２），国語Ⅲ（３），国語Ⅳ（４） 関連科目：漢字が関わる全科目 受講上のアドバイス： ・ 2 級は，高校卒業・大学・一般程度のレベル（すべての常用漢字について，読み書きや，文章中での適切な使用ができるレベル）であるが，実力で合格することは難しく，受検対策の勉強が必要である。 ・ 1 級は常用漢字（2136 字）を含む約 6000 字，準 1 級は常用漢字を中心とした約 3000 字が対象漢字となる。どちらの級も大学・一般程度のレベルとされているが，合格するにはかなりの努力が必要である。 ・ 以上をふまえ，自身の漢字能力と受検日に合わせて，学習を進めること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	日本漢字能力検定についてのガイダンス。				
		2週	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。				
		3週	同				
		4週	同				
		5週	同				
		6週	同				
		7週	同				
		8週	（前期中間試験）				
	2ndQ	9週	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。				
		10週	同				
		11週	同				
		12週	同				
		13週	同				
		14週	同				
		15週	（前期末試験）				

		16週	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定２級以上の受検に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。	
後期	3rdQ	1週	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定２級以上の受検に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。	
		2週	同	
		3週	同	
		4週	同	
		5週	同	
		6週	同	
		7週	同	
		8週	（後期中間試験）	
	4thQ	9週	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定２級以上の受検に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。	
		10週	同	
		11週	同	
		12週	同	
		13週	同	
		14週	同	
		15週	（学年末試験）	
		16週	合格者に対する，単位取得申請手続きの説明。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0